

明石高専 同窓会通信 第9号

〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3

明石工業高等専門学校・同窓会

TEL・FAX (078) 946-6186

目 次

出会い・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小川 直樹	1
明石高専の近況・・・・・・・・・・	友久 誠司	2
「潮寮懇親会～世代を超えて潮寮を語る～」の報告・・・・・	鈴木 一幸	3
高専交流人事を終えて・・・・・	高田 功・長戸 喜隆・平安 隆雄	3、4
子午線会・明石高専建築会からのお知らせ・・・・・		5
明機会・萌友会・事務局からのお知らせ、退職される先生・・・・・		6

出 会 い

建築学科15回卒 小川 直樹

厄年が数えて42歳とはよく考えられたものだ実感する。皆さんはいかがだろう。私の場合、2年前が大厄だった。この頃の私は仕事や対人関係に行き詰まっていた。就職して20年、それなりに仕事をこなせる自信もあったが、この年担当した仕事はまったくうまく行かなかった。用地買収など交渉ごとの多い仕事を任せられ、自分流の筋書きで交渉したのは良いが、交渉はことごとく難航した。今思い返せば当然のことだが、仕事ばかりを見て相手を見ていなかった。こうなると職場でのコミュニケーションにも悪影響がでて孤立し、被害妄想になり・・・と悪循環に陥ってしまう。

こうした時期、思いがけないことで自分の考え方を根本から変える出会いが2つあった。お一人は建築学科卒業生が集まる忘年会での出会い。大先輩であるその方は、私と話をするなり「お前は皆に好かれようとして墓穴を掘っている。」と叱咤された。仕事や対人関係に悩む私の不安を見事に指摘された。その先輩は「人は世の中の3分の1に好かれるだけでいい。後の3分の1は嫌われる。残りの3分の1はお前に無関心だ。」と。だから周囲を気にせず自分を見つめろと教えられた。

もうお一人も建築学科卒業生で行った旅先での出会いである。白川郷で景観保全・まちおこしに取り組むその方は、「プライドこそが人間の成長を阻む元凶だ。」とおっしゃった。その方は夜中の2時3時まで飲みながら話しかける私に付き合ってくれた。」「からんでい

た」という方が正確だ。）

こうした出会いをきっかけに、少しずつ自分を見つめなおすことができ、次第に「自分への過度な期待」から解放された。不思議なもので、一度「出来ない自分」を受け入れてしまうと、周囲の人の魅力が急に目に飛び込んでくる。周囲には自分には無い魅力を持った人がたくさんいるのだ。仕事の交渉相手にも少しずつ受け入れてもらえるようになった。そしていろいろな人とのコミュニケーションを広げたいとも思うようになった。（40過ぎまでそんなことが分らなかったのか！と皆さんは思ひでしょう。お恥ずかしい。）

私の場合幸いだったのは、同窓会を通じて、自分にとって大きな出会いの機会が得られたことだ。職場での人間関係だけでは、40歳を過ぎてまともに叱咤されるような経験は出来ないだろう。

さて、この春も新たな卒業生がこの同窓会に参加する。最近の高専は進学率が4割を超え、女子学生も増加、いろいろな面で様変わりしている。高専が必ずしも最終学歴では無くなることに一抹の寂しさを感じるOBの方もいらっしゃるだろうが、この学校で過ごした10代後半の5年間は、その後の進路に関わらず個人にとって忘れがたい記憶と人間関係を得る期間になっていることと思う。

多様化した高専の卒業生が同窓会に参加してくれることで、新たな出会いの機会が増えることを大いに期待している。

明石高専の近況

副校長 友久 誠司

卒業生の皆様、お元気でご活躍のことと拝察いたします。

国立高専機構では科学技術創造立国である日本において、高専はどうあるべきかを問い直す「国立高専の整備について」を平成18年末にまとめた。そこでは、体験重視型の創造性教育を実施できる我が国唯一の教育機関であることを認識しつつ、行財政事情と人口動態の制約を踏まえて、本科課程(5年生まで)を抑制基調で見直し、専攻科課程(本科卒業後の2年間)を充実する方向を提示している。そして、「高専の配置の見直し」として、高専間の学校の統合(宮城と仙台電波、富山と富山商船、高松と詫間電波、八代と熊本電波)や一高専内の学科数の減少が提言されている。

一方、中央教育審議会では10数年ぶりに大学分科会高等専門学校特別委員会が開催されており、「高専教育の現状分析」と「社会経済環境の変化に対応した高専教育の今後のあり方」などについての審議を進めている。

本校も平成16年度の独法化以後、毎年1%ずつの経費の削減があり、多様な、かつ実践的・創造的技術者を育成するために、より一層の効率的な業務の遂行が必須である。特に、少子化や高学歴化の波にもまれながらも志願者の確保が大きな命題であり、地域企業との連携や社会的ニーズに根ざした本校独自の活動、個性化が求められている。

平成19年度の近況は以下のとおりである。

1. 学校の概要

(1) 学生数

本科829名(女子学生数121名)、専攻科35名(6名)、留学生(インドネシア、マレーシア、ラオス、ベトナム、バングラデシュ)11名(2名)

(2) 教職員(敬称略)

教員70名、職員45名。教員の移動は、M科へ生産工学の大森茂俊、設計工学の史 鳳輝の2名が着任。高専交流人事で木更津から平安隆雄(歴史)、大島商船から高田 功(数学)、徳山から長門喜隆(英語)が明石へ。一方、A科の八木雅夫が呉へ。

(3) 施設設備としては、A・C寮が耐震工事を施工

2. 卒業生の進路

平成19年3月で本科は進学98名、就職59名、その他8名。専攻科は進学14名、就職8名、その他1名。平成19年は就職希望がさらに少なくなり本科35名、専攻科10名で、大学や大学院への進学校の様相。

3. 産官学など、学外との連携

(1) テクノセンターの改組

社会的ニーズと学内の研究シーズとのコーディネートを行う総合企画室をテクノセンターに設置し、多様な課題への取り組みや技術者組織としての機能的対応が可能なシステムを構築。

(2) 協定の締結

明石市「地域社会の発展と人材の育成」、みなと銀行「銀行の機能強化および地域の活性化」、京都大学・神戸大学・大阪大学「教育および学術研究上の協力関係の推進」などを目的とし、情報交換、単位互換やインターンシップを実施。

(3) プロジェクト

高専機構の「ため池王国播磨での地域連携による環境教育」や中小企業庁の人材育成プログラムなどを実施。また、イブニングセミナー等への講師の派遣では本校の卒業生のNPO技術者集団ACT135明石に協力いただいている。

4. その他

(1) 体育大会(団体のみ)

近畿大会ではハンドボール、女子バレーボールが1位。陸上、男子バレーボール、柔道、硬式野球が2位。全国大会では女子バレーボール部が2位。

スポーツ推薦入試の近大高専が脅威。

(2) 夏休みが8月の第2週～9月末に移動。

(3) 2週間程度のインターンシップ(企業実習)をA科とE科で実施。C科も一部で試行中。

(4) 英語のプレゼンテーションコンテスト、近畿大会では低学年と留学生の部で1位、高学年の部で2位。全国大会ではスピーチの部で2位。

「潮寮懇親会～世代を超えて潮寮を語る～」の報告

NPO 法人技術者集団 ACT135 明石

理事 鈴木 一幸（機械工学科 3 回卒）

明石高専 OB が中心となり、高専卒業後実社会で培った技術を生かし、地域企業への技術相談、実務経験者の助言・提言による社会教育の推進等による社会貢献を目指し平成 18 年 3 月に「NPO 法人技術者集団 ACT135 明石」を設立しました。今回、寮生会との共催により、潮寮懇親会を開催しました。

平成 19 年 10 月 6 日（土）20 時から潮寮食堂において、第 1 回生から第 41 回生までの OB11 名と現役寮生約 60 名が参加し、「昔の寮はこんなだった」「寮生活がどのように社会に出て役に立った」をテーマに約 3 時間フリーディスカッションが行なわれました。昔なつかしい写真の紹介、潮寮の名前の由来、夜回り隊等昔の寮生活の実態が OB から紹介され、現役寮生からは、寮生活での悩み、寮生活をしてどのようなことが役立ったのか等の質問があり活発な質疑が行われた。やはり同じ屋根の下・同じ釜のメシを食べた仲間は年齢が違ってもすぐに気持ちがひとつになり、楽しいひと時

を過ごしました。

後日、寮生によるアンケートの結果は、今後も続けてやってほしいという意見が 90%を超え、次年度も引き続き開催することが、寮務主事・寮生会・ACT の協議により、確認されています。

本内容も含め NPO 法人技術者集団 ACT135 明石の活動状況等については、

<http://www.gijutsusha-syuudan.org>

を御覧ください。



写真 1 潮寮懇親会の様子

高専交流人事^{*1}を終えて… 明石高専に赴任された先生方より

いざ、古巣大島へ

平成 18 年度から始まった全国高専間の教員交流制度の第 1 陣として、山口県にある大島商船高専から明石高専に、2 年間着任させていただきました。その間、教職員の皆様のお陰で、大過なく過ごすことができましたことお礼申し上げます。

2 年前に明石に来て驚いたことは、学生の自主性を重んじ、寮の点呼も学生会運営も、本当の意味で学生主体で運営できていることでした。大島では、学生主体といいながら、実際は教職員が大部分に手を出さないと運営できないことが多かったように思います。学校のトイレなどが煙草臭くないことにも驚かされました。見えないところで吸っている学生もいるのでしょうか、煙草のことで追い駆けっこをしなくても済むのはありがたいことでした。また、卒業生の皆様によって構成されている ACT 135 技術者集団の講演会を聴かせていただく機会もあり、その多方面で活躍されている姿を見させていただいて、高専の存在意義を再確

大島商船高専 一般科目 高田 功

信することができました。

最初の 1 年間は教務委員をさせていただき、とても優秀な学生が入学してきて、また、半数以上の学生が大学や専攻科へと進学しているのを見ることができました。そして、授業を始めてみると確かに優秀な学生が多く、私みたいな者が授業をして受け入れてもらえるのかと不安もありましたが、どうにか 2 年間授業をすることができました。今振り返ると、学生が自主勉強することを大前提として授業をしていたような気がします。

今、高専は大きな岐路に立たされていると思います。大島に帰ると、また、学生との追い駆けっこの日々が、そして、学生をなだめたりすかしたりする授業が待っているかもしれません。しかし、明石高専で見聞きしたことを参考に、高専の発展に寄与できればと考えております。2 年間ありがとうございました。

明石高専雑感

2年間の明石高専の印象は、噂に違わず、勉強熱心で優秀な学生が多かったことです。私が明石に着任して間もない平成18年の4月、大阪大学の大学院生となっている徳山高専の卒業生A君が訪ねて来ました。A君の同級生の中に明石高専出身の人がいて、「明石高専は全国で3本の指に入る高専だ。」と自負しているのを聞いて、高専の教員を目指すA君は明石高専に興味を持ち、私が明石高専にいるのを知り、訪ねてきたのでした。

話しているうちに私たちは、そんな風に母校を誇りに思う卒業生とそんな卒業生を送り出す明石高専を羨ましく思いました。実際、2年間で私が目にした明石高専の学生は、お互いが切磋琢磨しながらよく勉強するし、進学・就職状況も依然好調です。しかし、その一方でテストの1点に対する執念は今までに私が経験したことのないものでした。クラス内順位を気にするあまりだとあとで知りました。

私は2年間クラス担任をさせていただきました。入学式の日に保護者には、「これからは順位ではなく、良い技術者になるためにどのよ

徳山高専 一般科目 長戸 喜隆

うな勉強をしているかを基準に励ましてあげてください。」とお願いしました。学生たちには、順位ではなく平均点が向上していくよう、勉強が難しくなっても平均点が下がらないよう自分の心の中での競争に打ち勝つことを訴えました。きれいな事に聞こえるかもしれませんが、点数だけで人を判断し、判断される人間関係がクラスを席巻して欲しくないことも伝えました。

私の言葉のせい、本来の人間性なのか、ピリピリした妙な緊張感もなく、笑いが絶えない元気なクラスになりました。勉強だけでなく高専祭などの行事にも積極的に参加し、それぞれが持ち味を出し合い、協力する様がよく見られました。社会に出て仕事をする上で、大事なことはチーム・ワークと、一人一人が責任を全うしがんばるチーム・スピリットだと思います。競い合うと同時に協力する集団が明石高専をもっともっと高めていくことを願っています。

高専間人事交流を終えて

平成16年から国立高専は独立行政法人化し、全国55高専は高専機構のもとに一元化されました。その流れで高専間の人事交流がおこなわれるようになり、私は平成18年からこの2年間、千葉県の本更津高専から派遣されて明石高専で教えました。専門は歴史(西洋史)で現2・3年生の社会科を担当致しました。

神戸市垂水区出身の私には明石高専には深い思い入れがあります。私が中学一年生の時に明石高専が設立されて、異常なほどの倍率で入学試験がおこなわれたことを友人から聞いて高専というのは難しい学校という印象を持ちました。その翌年、六甲高専(市立神戸高専・当時舞子にあった)が開校されて私の中学校の教室が入試の試験場として使われ、ひょっとして来年ここを受けるのかなと思ったりしてい

本更津高専 一般科目 平安 隆雄

ました。結局普通高校に進学しましたが5年間で大学卒業レベルの教育をおこなう学校に大変魅力を感じておりました。高校生と同じ年齢なのに学生と呼ばれ、2・3年生からドイツ語を勉強し、数学などは2年間で高校レベルを終了するというような教育システムは、今から考えるとまさに高度経済成長を突っ走る日本と日本人の姿を体現化していたように思えます。

明石高専生は、入試倍率が以前より低くなったものの、授業で接してみると勉強に意欲的で穏やかな学生が多く、ここで吸収した知識と技術力と強い倫理性を持てばもっともっと社会で高い評価を受けるでしょう。

今後の明石高専のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

※1 高専交流人事とは

国立高等専門学校では、教員を教員交流派遣者として他高専へ一定期間派遣し、他高専において教育研究活動に従事させる教員交流制度を設けています。この制度は、教員の力量を高め、各高専における教育及び研究の向上を図り、国立高等専門学校全体の活性化及び人事の流動性の確保することを目的としています。

子午線会からのお知らせ

電気工学科、電気情報工学科、機械・電子システム工学専攻科卒業生各位

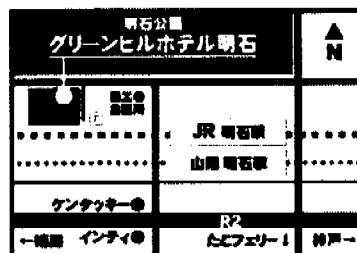
電子雅俊先生の退職記念会のお知らせ

私たちがお世話になりました電子雅俊先生は、本年3月31日をもって明石高専を定年退職されます。

先生は1972(昭和47)年本校に赴任されて以来、36年の長きに亘って、学科や学校運営の発展のためにご尽力くださいました。卒業生諸氏にとりましても、電気磁気学や過渡現象論の授業や、クラス担任、卒業研究の指導、クラブ活動の指導、わけても進路指導において学生のために親身になってご指導くださった先生の、教育者としての心温まるお人柄に、きっと思い出多いことでありましょう。

そこで、この度のご退職の機に少しでもご恩返しを致したく、子午線会の有志で下記のような記念会を計画いたしました。皆様には、この趣旨にご賛同賜り、多くの方々にご出席いただけますようお願い申し上げます。

日 時 2008年5月24日(土)
13時から15時
場 所 グリーンヒルホテル明石
明石市大明石町2-1-1
TEL 078-912-0111
会 費 1万円(記念品代を含む)
当日お持ちください



◎ なおご出席頂だけます方は、5月の連休明けの5月7日(水)までに、下記の在校幹事椿本博久まで、EメールまたはFAX、郵便でご連絡いただけますようお願い致します。

明石高専電気情報工学科

椿本博久

〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3

◎ また、記念会には出席できないが記念品贈呈には賛同したいというお方は、5月20日までに記念品代として5,000円を下記の口座にお振込みください。

神戸信用金庫 普通預金 027-0373088 椿本博久

明石高専建築会からのお知らせ

明石高専建築会の第9回総会を今年6月中に明石高専にて開催する予定です。建築学科の同窓生は奮ってご参加ください。詳細は後日連絡しますが、建築会のホームページからも参加申し込みができますので、ホームページへも気軽にアクセスして下さい。ホームページへは下記のアドレスが“明石高専建築会”で検索してください。

<http://anctkenchikukai.sakura.ne.jp/>

明石高専建築会

検索

ホームページでは情報交流の場としての掲示板を設けています。ぜひ書き込みをお願いします。また、卒業生を紹介するコーナーがあり、掲載料等、一切必要ありませんので、皆さんのご応募をお待ちしています。また見学会等も適宜、企画していますのでぜひご参加ください。

明機会からのお知らせ

開催予告「関東在住者の合同懇親会」

明機会関東支部長 横田 博 (M7回卒)

明機会関東支部では一昨年から支部懇親会への参加をM科以外のOBの方にも呼びかけて開催しています。今年はこれを発展させて各科OB有志の合同幹事による「関東在住者の合同懇親会」を夏頃に企画したいと考えています。開催日時等の詳細が具体化しましたらホームページや明機会メーリングリスト等でのみご案内しますが、開催案内の直接のメール送信を希望される方は、5月末までに次のアドレス宛に氏名、メールアドレス、卒業回次(又は○年3月)、学科をご連絡くださるようお願いします。

(注：M科OBの方は明機会メーリングリストへの新規登録の希望の有無も付記して下さい)

kanto_meiki@hotmail.co.jp (関東支部事務局アドレス)

萌友会からのお知らせ

平成19年12月8日、恒例の第12回萌友会ゴルフ大会が栗賀ゴルフ倶楽部において開催された。今回は他学科の卒業生を交え、会員、現旧教職員31名が集まった。昔話、近況報告等を交えながら楽しい一日が過ごせた。成績は下記のとおりで、ベスグロは深津隆彦(M1)氏の78であった。また、土木4回卒業の常峰三良氏がホールインワンを記録した。

平成20年の大会は12月6日(土)を予定している。萌友会ゴルフへの参加は、他学科卒業生の参加も可能で、奮って参加をお願いします。申込みは都市システム工学科事務室まで。

順位	氏名(学科、回数)	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
優勝	徳田義一 (E8)	44	45	(89)	(34)	55
2位	澤 孝平 (名誉教授)	46	47	(93)	(26)	67
3位	深津隆彦 (M1)	41	37	(78)	(8)	70

平成20年3月末日で退職される先生

電気情報工学科 教授 竜子 雅俊

事務局からのお知らせ

- (1) 会費の納入について 会費未納分がある方は、数年に一回の会報郵送時に同封の振り込み用紙を利用してご納入下さい。
- (2) 住所変更等の連絡について 住所などの変更がございましたら、お手数ですがハガキ、FAXあるいはE-mailにて下記の同窓会の事務局の方へご連絡下さい。
- (3) 原稿募集 同窓会通信の原稿を募集しています。同窓会への注文、近況報告など何でも結構です。下記事務局宛にお願いします。

同窓会事務局の電話、FAXを設置しています。不急の連絡は下記の窓口へお願いします。なお、留守番電話とFAXの処理は1週間毎に行いますので、緊急の連絡は在校の幹事までお願いいたします。

[在校幹事]

椿本博久 (電気 2回)

友久誠司 (土木 4回)

國峰寛司 (機械 16回)

江口忠臣 (機械 20回)

藤原誠之 (機械 25回)

荘所直哉 (建築 28回)